

「岐阜まつり」の宵宮

平成 18 年 4 月 2 日

フル百回楽走会

593

武藤 翔峰

カラクリ人形を乗せた山車や本みこしを曳(ひ)きそろえる「岐阜まつり」の宵宮が一日夜、岐阜市伊奈波通の伊奈波神社一帯で営まれました。

午後七時すぎ、踊車、蛭子車、清影車、安宅車の四台の山車(市重要有形民俗文化財)が、お囃子(はやし)を響かせながら、境内に集合。ほころび始めた桜の下、ゆらゆらとちょうちんが揺れ、幽玄の世界をつくりだしました。

山車に続いて、本みこしが勢いよく担ぎ込まれると、祭りのムードは一変。「わっしょい」「そいや」という迫力ある掛け声に、境内は一気に活気づき、詰め掛けた市民らを魅了しました。

私もぎふ長良川走ろう会の会員と一緒に本みこしの曳き子として参加、楽しい、貴重な経験をした。





